

ブラジリアの風

VENTO DE BRASÍLIA

「私たちの息子らが、若いときによく育った
若木のようになりますように」詩篇144:12



喜びも悲しみも

頌主

ブラジルは秋を迎え、道端にはカキが売られ、夕暮れにはトンボを見かけるようになりました。梅雨の日本にあっては皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。いつも祈りに覚えてご支援してくださっていることを心から感謝申し上げます。

この二か月は、いろいろなことがありましたが、一つ一つが主の御手の中で最善に導かれたと信じて振り返っています。教会関係の方々が続けて三人も召天、ご遺族にとっては深い悲しみの時でしたが、永遠のいのちの希望を確認する大切な時でもありました。特に95歳で召天された土田としえ姉妹は、教会創立当初からのメンバーで、いつも神への感謝と賛美に溢れ、視力が衰えても聖書を開くことを忘れない方でした。その信仰の「遺産」が絶大であることが記念会でも語られました。

他方、教会の三人の姉妹は妊娠中で、そ

の誕生を待ちわびています。クリスチーナ米川姉妹は、胎児に異常が見つかり、胎児の胸に「小さな風船」を入れる手術を受けました。胎児（ケンゾウ君）の無事の出産と成長をお祈りください。

わが家の子どもたちは、皆元気で歩んでいます。5月末には四男翔が4歳の誕生日を迎え、家庭でほのぼのとお祝いしました。生後5ヶ月で来伯した翔もここまで成長。誕生時の彼の写真やビデオをお兄ちゃんたちと見ながら、神さまの守りと祝福を改めて感謝しました。妻の手作り「マラクジャケーキ」もあつという間にペロリ。冒頭のみことばを私たちの祈りとして、これからも歩みたいと願っています。主に用いられやすい器となるように、しっかりと根を張った若木になりますように。

喜びも悲しみも、主の栄光のために。

2016.6.10 浜田献、陽子

感謝

献金者一覧 (2016年1-4月)

麻布霞町教会、松戸福音教会、茨木聖書教会、学園前聖書教会、総和キリスト教会、矢作キリスト教会、青森シオンキリスト教会、町田南キリスト教会、新津福音キリスト教会、豊栄キリスト教会、波崎キリスト教会 (計 164,280円)

毎月感謝と祈りをもってささげてくださいしている諸教会の一人びとりに心から感謝いたします。主の手足となり、主の心をもって、宣教の最前線で仕えて参りたいと願っています。皆様の背後の祈りとご支援を引き続きよろしく願いいたします。

*「宣教師指定献金」予算
200万円/年 (月約17万円)

■献金先：郵便振替
00120-5-142886
日本同盟基督教団事務所
「浜田宣教師指定」とご明記下さい。

ブラジル生活アレ・コレ

☆ブラジルでの「あいさつ」は、必ず握手をします。少し親しい間柄ではハグしてほっぺたにチュッ。この文化に慣れてしまった子供達は（大人も?!）日本で生活すると少し寂しい思いがするそうです... 身近にブラジル人がいらっしゃったら、ぜひ握手で挨拶してみてください！ブラジル人は心が素直で豊かなので、お互いの距離がぐっと近くなりますよ。

□陽子：去年発症したアトピー性皮膚炎がなかなか治らず、また以前治療した歯も再治療中。癒しと必要の満たしのためお祈り下さい。

□真理生：5月には学校のサッカー選抜チームの旅行でサンパウロ（ここから1000km）へ。惜しくも銀メダルでしたが、初めてブラジルを出て、よい経験となりました。

□湧希：学校では今年も学級委員に選ばれました！教会では詩篇23篇と100篇をポルトガル語で暗唱しました！

□聖也：ポルトガル語で少しずつ音読ができるようになっていきます。遂に日本語力を上回りました！フットサルでは金メダル！

□翔：“danado”(いたずらっ子)な4歳児、母と知恵比べの楽しい日々です。

☆「季節のみことば」カレンダー



弟が教会の方々と作成した聖句入りカレンダーが喜ばれています。農業を営む前添さん（左側の奥様）は日本の高校時代に書道を習い、今も俳句の会に集っています。その一句は彼女の心境を垣間みることができます。

「故郷の亡き父母想ふ星月夜」



翔／マラクジャケーキで4オバースデー



マリオ／サンパウロでの親善試合



聖也／親友チアゴと同じフットサルチームで金メダル

日本同盟基督教団 ブラジル宣教師 浜田献、陽子／真理生、湧希、聖也、翔
住所：Terceira Av. Bloco 1240, Casa 02, N.B.-DF. Brasília BRASIL CEP:71720-008
E-mail: kenyokomario@yahoo.co.jp 第一期目（2012.11～2016.12予定）